

Imaging Team

掲載内容

商品情報

- ・Meta Imaging Series Software Version 7.7.11 がリリースされました
- ・MetaMorph Super Resolution System について
- ・新型共焦点ユニット X-Light のデモ機をご用意いたしました
- ・LCI 社製インキュベータシステムの新型コントローラー、その他新製品のご紹介
- ・ASI 社製 オートフォーカスユニット “CRISP Autofocus System” について

技術情報

- ・Meta Imaging Series Software の Windows 8 への対応状況について

その他の情報

- ・Molecular Devices 社の動画サイトのご紹介

商品情法

・Meta Imaging Series Software Version 7.7.11 がリリースされました

メンテナンス期間内の SystemID は、下記 URL からアップデートファイルをダウンロードして、Meta Imaging Series をバージョン 7.7.11 にアップデートすることが可能です。

<http://www.meta.moleculardevices.com/updates/>

こちらで ID 番号を入力し、Log-in 後、「7.7.11 Update」をクリックしてください

* 32bit OS をご使用の場合「MM7711-32.zip」、64bit OS の場合「MM7711-64.zip」となります

主な変更点は、下記になります。

Camera Driver Updates

Andor

Super Resolution モジュールに対応しました

SDK 2.94.30007.0 をサポートしました

Photometrics

Super Resolution モジュールに対応しました

Device Driver Updates

Andor FRAPPA

不具合の修正を実施しました

Andor Laser Combiner

ALC-601 をサポートしました

ASI MS-2000

CRISP オートフォーカスを初め各種ハードウェアをサポートしました

Lumencor

ICS インターフェイスをサポートしました

MetaMorph Application Updates

Acquire Color

カラーCCD カメラでのオートホワイトバランスをサポートしました

MetaFluor Acquisition

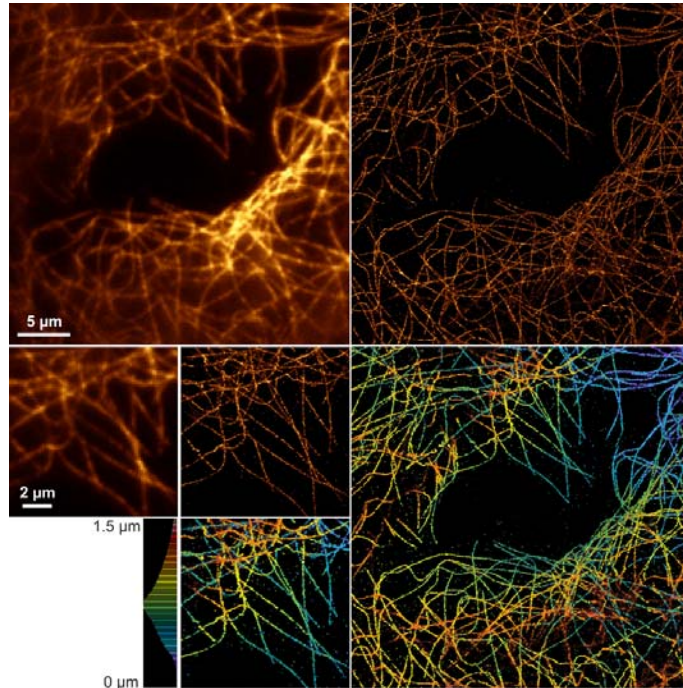
アウトプットトリガーをサポートしました

Stream 撮影の問題を改善しました

その他、既知の問題並びに機能の改善を行いました

・MetaMorph Super Resolution System について

12月に米国サンフランシスコ市で開催された American Society for Cell Biology(ASCB)にて、先月のセールスノートで紹介させていただきました MetaMorph Super Resolution System が初公開されました。



本システムは専用のワークステーションと、超解像イメージング作成用のモジュールを追加した MetaMorph Premier ソフトウェアとの構成となり、日本では定価 999 万円(税抜)でのご提供となります

その他必要な物といたしまして

- ・2 波長 TIRFM 顕微鏡
- ・カメラシステム(EM-CCD を推奨いたします)

が必要となりますが、すでに TRIFM システムを御所有のユーザー様は MetaMorph Super Resolution System をご導入いただく事で超解像を取得することが可能となります。また、それまでご使用いただいております電動 XY ステージおよびフィルタホイール、PiezoZ フォーカスユニットはそのままご使用いただく事が可能です

実際に動作している MetaMorph Super Resolution System を見たところ、従来まで、画像構築に非常に時間がかかる(約数十分以上)PALM/STORM が、専用の GPU を搭載した CPU/GPU パラレル演算方式により、3 万枚の画像から超解像イメージを作成するまで 5 分程度と、非常に短い時間でクオリティの高い画像を取得することが可能でした。

詳細につきましては当社担当までご連絡ください

・ **新型共焦点ユニット X-Light のデモ機をご用意いたしました**

新たに取り扱いを開始させていただきました新型共焦点ユニット X-Light のデモ機をご用意いたしました。

福岡にて開催されました分子生物学会で初展示をさせていただきましたが、安価でかつオリエティの高い画像に非常に多数の方からご興味、ご検討を頂き、ありがとうございました。

デモ機は本体および7波長のLED光源ユニットをベースにご用意可能です
また、PR用に価格構成を写真と併用して紹介したカタログを用意させていただいております。
ご要望の方は当社担当までお知らせください。



正立・倒立・実体顕微鏡



基本構成: 533万
 MetaMorph **プラス** 360万
 カメラ **プラス** 158万～
 吸収FW **プラス** 103万
 その他 (MagLevit 除振台など)

399万 (本体、70um)



21万 (ファイバ、マウント)



108万 (1波長)



5万～ (顕微鏡マウント)



ハイブリッドディスク (40um/70um) 80万



Dichroic filter wheel



5穴への変更 45万

360万 (制御系)



MetaMorph®

40000PBC
 5012686
 40117
 5012687
 31043
 31219
 MetaPrecisionPC

158万 (sCMOS)



30万～ (除振台)



・ LCI 社製インキュベータシステムの新型コントローラー、その他新製品のご紹介

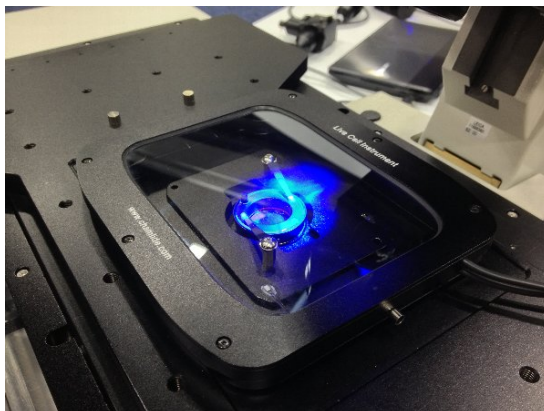
ASCBにて、弊社取扱の LCI 社より新製品がラインアップされておりましたので、ご案内いたします



写真上: 新型ガス混合装置 FC-9
写真下: 新型インキュベータコントローラ CU-501
特徴として、従来の機械式スイッチから、タッチパネルによる完全デジタルインターフェイスに変更されました

特にCU-501 は従来のフローボール方式の流量計も、完全にデジタル化することで、視認性、操作性を大幅に向上させています。また、各ヒーターの温度モニタ機能を新たに実装することで、PCレスで、インキュベート中の温度コントロール状況をモニタリングすることが可能となっています。

両機共にバックライトのON・OFF 機能(タイマーによるOFF 機能も有)により、暗室内での使用も念頭に入れた設計となっています



新型インキュベーターボディ

写真左: 従来のChamlide TC に相当する製品となります。

全体のサイズを薄くし、また、従来の加湿ボトルによる加湿エア供給方式からインキュベーター内部のウォーターバス方式に変更されています

写真右: 正立顕微鏡用インキュベーター

対物レンズ侵入用の穴を明け、かつ、ディッシュ内の視野移動を行うために、インキュベータ上面および内部に気密保持用のリムーバブルパッキンを有しております



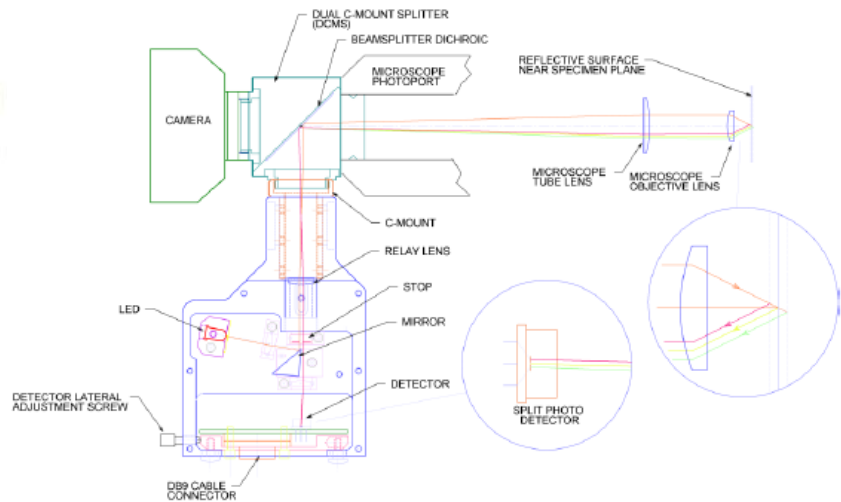
冷却用インキュベーターボディ(参考出品)

35 mmディッシュを室温以下の状態で保温するインキュベーターです。

4つのクーラーにより、インキュベーター内部の温度をコントロール可能です

・ ASI 社製 オートフォーカスユニット “CRISP Autofocus System”について

MetaMorph でサポート開始となります ASI 社製オートフォーカスユニット”CRISP”が ASCB にて展示されておりましたので、ご案内いたします



本システムは顕微鏡と CCD カメラの間にビームスプリッターを介して挿入される AF コントローラーが微弱な 850nm の LED 光にてフォーカス面を検知し、設定されたフォーカス面との距離を Z フォーカスモーターをコントロールしながらキープすることでオートフォーカスコントロールを行う装置です

実機によるコントロールを確認したところ、高速で安定したオートフォーカスが可能で、マニュアル顕微鏡しかお持ちでないユーザーには有用なシステムかと思えます。また、大きな特徴としまして、各顕微鏡メーカー様では倒立用では各社ラインアップがありますが、このユニットは C マウント部分に装着する為、各メーカーでまだラインアップの無い、正立顕微鏡用として装着することが可能です（ただし、水浸ノーカバー対物レンズの仕様は不可）

また、本システムの仕様には別途 ASI 社製の Z フォーカスモーターおよび Piezo フォーカスユニットが別途必要です（それ以外のメーカー及び電動顕微鏡の Z フォーカスモーターは使用不可）

MetaMorph では本デバイスのドライバを新たにご用意いたしました。

ご不明な点がございましたら当社担当までお問い合わせください

技術情報

・ Meta Imaging Series Software の Windows 8 への対応状況について

市場に流通しだしております新 OS “Windows 8” への Meta Imaging Series Software の対応状況ですが、現時点では Windows8 での動作は可能ですが、Windows8 ではインストールウィザードが Windows7 から変更があったため、Meta Imaging Series Software Install CD Ver7.7 を使ってのインストールができません。

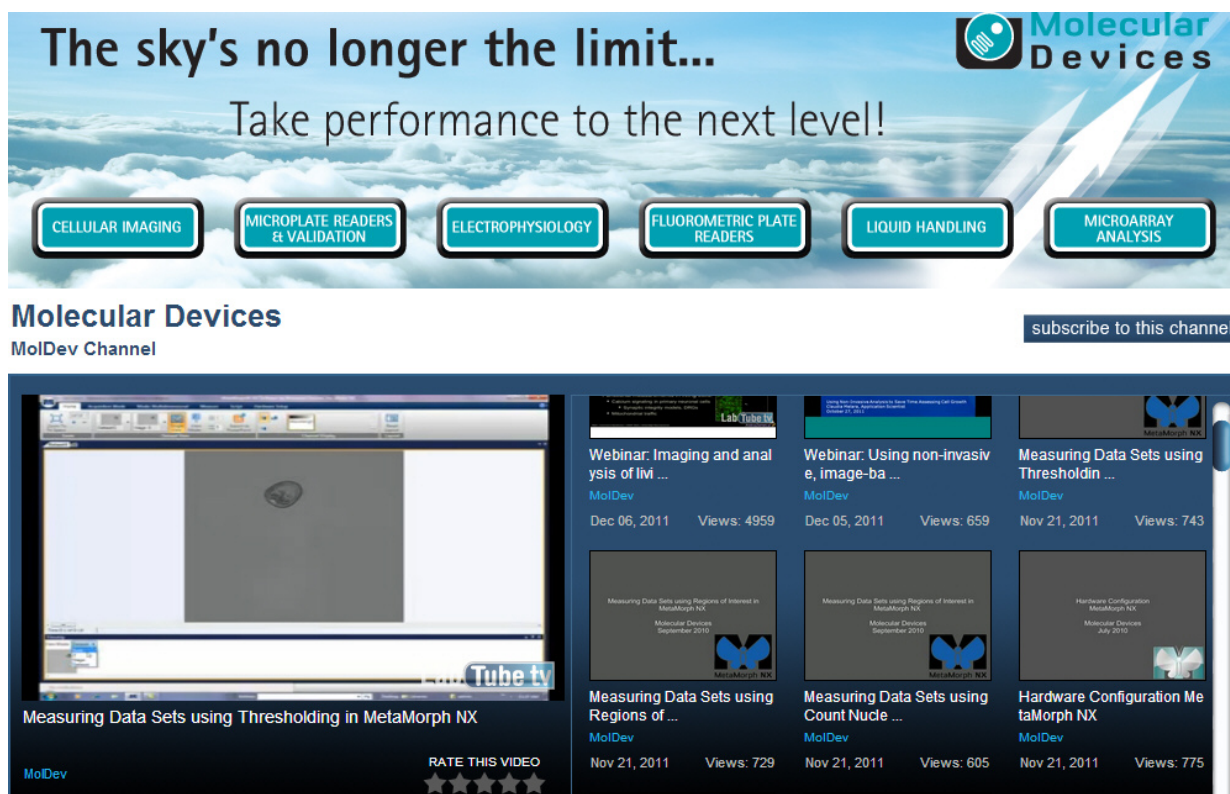
2013 年早々にリリース予定の Ver.7.8(予定)に新たに Windows8 用にもサポートされたインストール CD “Meta Imaging Series Software Install CD Ver7.8(予定)”にて対応予定となっております。詳細が明らかになり次第、こちらの文面にてご案内いたします

その他の情報

・Molecular Devices 社の動画サイトのご紹介

MetaMorph のトレーニングや機能紹介などの動画(英語)を掲載したサイトがございましたのでご案内いたします。

URL: <http://www.labtube.tv/channel.aspx?u=MolDev>



The sky's no longer the limit...
Take performance to the next level!

Molecular Devices

CELLULAR IMAGING MICROPLATE READERS & VALIDATION ELECTROPHYSIOLOGY FLUOROMETRIC PLATE READERS LIQUID HANDLING MICROARRAY ANALYSIS

Molecular Devices
MolDev Channel

subscribe to this channel

Measuring Data Sets using Thresholding in MetaMorph NX
MoDev
RATE THIS VIDEO

Webinar: Imaging and analysis of live cells
MolDev
Dec 06, 2011 Views: 4959

Webinar: Using non-invasive, image-based methods to measure cell viability
MolDev
Dec 05, 2011 Views: 659

Measuring Data Sets using Thresholding in MetaMorph NX
MolDev
Nov 21, 2011 Views: 743

Measuring Data Sets using Regions of Interest in MetaMorph NX
MolDev
Nov 21, 2011 Views: 729

Measuring Data Sets using Count Nuclei in MetaMorph NX
MolDev
Nov 21, 2011 Views: 605

Hardware Configuration MetaMorph NX
MolDev
Nov 21, 2011 Views: 775

まだできたばかりですので、掲載量は多くはありませんが、今後、新たな情報発信源として更新されていく予定です。非常にわかりやすい構成となっておりますので、ご興味のある方は是非ご覧ください

本年は皆様方に多大なるご愛顧、ご協力を頂きまして誠にありがとうございました

新年も引き続きよろしくお願い申し上げます

以上